

女子高校生が考案した「痴漢抑止バッジ」 誰にとっても、安心安全な電車の実現



一般社団法人 痴漢抑止活動センター

2016.03.18

【目次】

1. 企画コンセプト		3
2. 痴漢抑止バッジ 仕様		4
3. パッケージ		5
4. 公式サイト／通販サイト		6
4. 開発の経緯		7
5. プロジェクトに寄せられた声		8
6. メディアの反響		9
7. 商品の優位性		10
8. 採用事例		11
9. 販路開拓 ／ 協賛企業募集		12
10. 製品・サービスの連絡先		13
11. 代表者プロフィール		14

1. 企画コンセプト



都内在住の高校生が、2015年4月に母親と一緒に、痴漢被害防止バッジの原案を考案しました。

彼女は、1年前に高校入学してから、通学電車で毎日のように痴漢被害にあっていました。2015年の春、彼女は痴漢犯を捕まえ、犯人を起訴しました。

「2度と痴漢にあいたくない！」と考えた彼女は、「私は泣き寝入りしません。痴漢は犯罪です！」と書いたカードを作り、身につけて登下校するようになりました。

それ以来、彼女は、痴漢被害にあっていません。

- 痴漢されているときに声を出すのは、怖い。
- 周りの大人は、助けてくれない…。
- 犯人と間違えて、冤罪被害者を出すのはイヤ。
- 被害にあってから勇気を出すのではなく、被害にあわない勇気を出す！

17歳の少女の切実な思いから、痴漢抑止バッジは誕生しました。

2. 痴漢抑止バッジ 仕様



2016年3月製品化
サイズ: 直径57mm
安全ピン／クリップ併用
デザイン: 5種類
価格: 380円(税別)



デザインは、
クラウドソーシングで公募。
178名のデザイナーが
441点を提案。
支援者と女子高校生の
意見により5案を採用。

3. パッケージ



パッケージサイズ: A7 (74 × 105 ミリ)

リーフレット: 外4つ折り。

- ・痴漢にあわない安全な乗車方法のアドバイス* (2～3P)
- ・協賛企業のメッセージ (4P)

*埼玉県警が配布する「チカン撃退マニュアル」を参照して製作

4. 公式サイト／通販サイト

公式サイト：

立ちあがれJK！ -痴漢抑止活動センター-

URL: <http://tarjk.com/>

- ・痴漢被害相談窓口リスト(準備中)
- ・痴漢にあわないために注意すること
- ・痴漢抑止バッジの使い方

通販サイト：

立ちあがれJK！ -痴漢抑止活動センター-

URL: <http://tarjk.thebase.in/>



5. 開発の経緯

高校入学
電車通学で
痴漢被害

2014.4

痴漢
逮捕

2015.4

プロジェクト
発足

2015.8

クラウドファンディング
デザインコンテスト

2015.11

2016.2

2016.4

怖くて何も言えない.....

抗議

カード

企画

プロジェクト

製作

駅、鉄道警察、警察署に相談
防犯グッズ、車両変更、
立ち位置工夫.etc

犯人、逆切れ
しらばっくれる

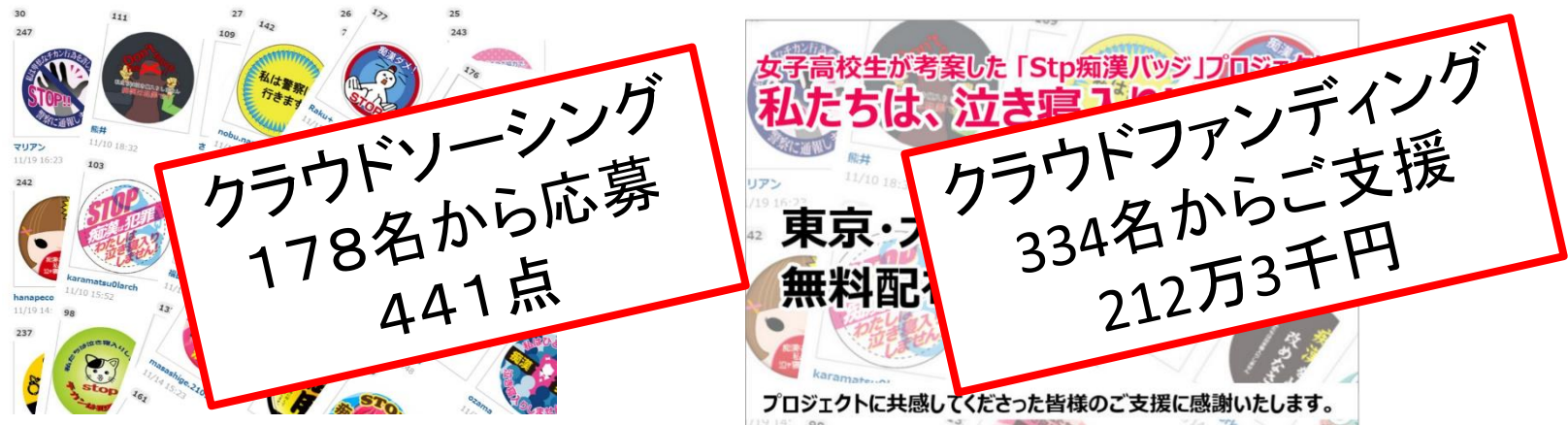


サンプル
無料配布
約300個



1年間続いた痴漢被害が、カード(バッジ)をつけるようになったら、ゼロ！

6. プロジェクトに寄せられた声



・デザイン公募期間: 2015年11月4日～25日 (クラウドワークス)

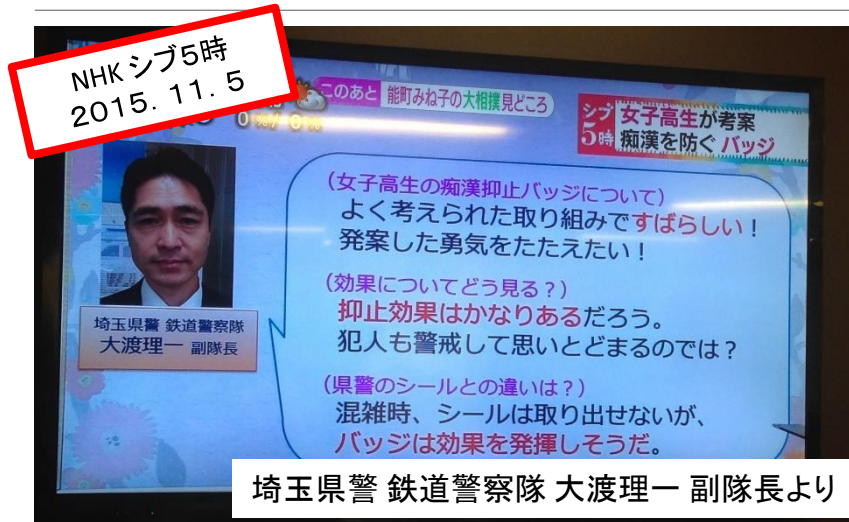
URL: <https://crowdworks.jp/public/jobs/428687>

・クラウドファンディング: 2015年11月4日～翌年2月1日 (Faavo)

URL: <https://faavo.jp/tokyo23/project/806>

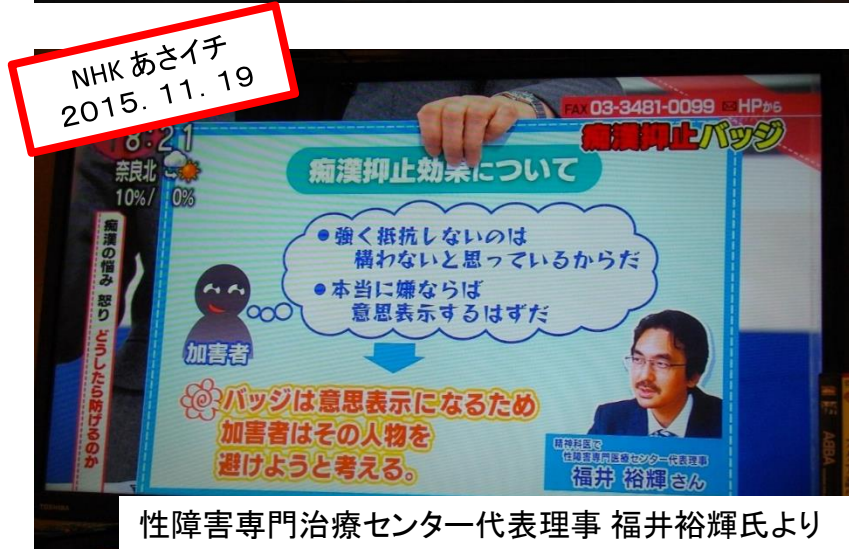
【ご意見・感想】娘が被害にあっているからバッジを持たせたい / 20年前に被害にあった。何も言えなかった自分を後悔している / 痴漢犯罪が減れば、冤罪もなくなる / 高校時代にあればよかったのに... / 塾の生徒に配布したい / 考案者の知恵と勇気がすばらしい / 被害者も犯罪者も、冤罪被害もなくなるのがいい / 下校時間に女性専用車両がないため痴漢にあってしまう / 冤罪被害に怯える男性にとっても、ありがたい / etc.

7. メディアの反響



Yahoo！ニュース 1.9万 いいね！
NHK、民放、新聞各社、
ネットメディア、海外メディア
など、多数報道

専門家からも
「効果があるだろう」と
コメントをいただきました。



8. 商品の優位性

- 痴漢被害にあわない
- 痴漢加害者が生まれない
- 痴漢冤罪被害もおきない

誰にとっても
安心・安全な電車空間

被害者を孤立させない / 周囲の大人が関心を持つ
警察・鉄道会社・企業・大人

社会が
子どもたちを守る

9. 採用事例



1) 兵庫県警 × 阪急電鉄

- 神戸本線 女性専用車両の導入に合わせてキャンペーン実施
- 494 (抑止) 個を無料配布
- 2016年3月28日
- 三宮駅 10:00～ 西宮北口駅 14:00～

2) 神奈川県防犯指導員連絡協議会 痴漢撲滅キャンペーン

- 2016年4月1日
- 海老名市 のゆるキャラ「えび～にゃ」で痴漢抑止バッジを製作
- 場所: 海老名駅連絡通路及び自由通路
- 協力: 海老名警察、海老名防犯協会、
市内県立高校生徒有志、職員 他



えび～にゃ

10. 販路開拓 ／ 協賛企業募集

【販路開拓】

- 警察(神奈川県警、兵庫県警、埼玉県警、新潟県警、群馬県警、千葉県警)
- 雑貨店(サンキューマート、ヴレッジヴァンガード、ロフト、ハンズ 他)
- コンビニ／ 駅ナカ ／ 駅ビル
- 通販(ティーンズ向ブランド、コープ、自社サイト、ノベルティカタログ)

【協賛企業 募集】

- 鉄道会社／化粧品会社／下着メーカー
- 子ども、女性をターゲットとしたメーカー

11. 製品・サービスの連絡先

【団体名】 一般社団法人 痴漢抑止活動センター

【代表理事】 松永弥生

住所: 〒541-0051 大阪府中央区備後町3-6-2 大雅ビル10F-242

電話: 06-7898-7807

e-mail: info_scb@scb.jpn.org

【HP】 <http://scb.jpn.org/>

【facebook】 <https://www.facebook.com/scbproject/>

【Twitter】 https://twitter.com/scb_info

【バッジ考案】 殿岡万里(保護者・都内在住)

12. 代表者プロフィール



松永弥生 1965年生 大阪市在住
「痴漢抑止バッジ」考案者の母である殿岡万里とは、小学生時代からの友人。
殿岡に缶バッジにすることを提案し、「Stop痴漢バッジプロジェクト」をスタートさせた。

【コメント】

痴漢抑止バッジを普及させ、企業と大人が子ども達を見守る安全な社会の構築を目指します。
プロジェクトを継続させていくために、ビジネスの手法を積極的に取り入れてゆきます。

電子書籍出版コンサルタント、文章講座の講師、フリーライター。

2004年～ 三月兎のペンネームで、関西を中心としたロボット関連記事を大手メディアに掲載。松永弥生 名義で、中小製造業経営者インタビューを連載中(<http://www.itmedia.co.jp/author/210131/>)。